

愛和保育園 地域子育て支援 「きしゃぽっぽ」だより



枚方市桜町2-4 TEL 072-844-6234

5・6月の地域活動日(予定)

		5月 1日(水)	子育てルーム ※要申し込み 10時~11時
5月 7日(火)	くれよん1才 すみれグループ	8日(水)	ふれあい離乳食体験 ※要申し込み (試食あり) 10時15分~11時15分
14日(火)	くれよん0才 つくしグループ	15日(水)	ほっこり広場(伊加賀公園) 申込不要 雨天中止 10時15分~
21日(火)	くれよん1才 すみれグループ	22日(水)	誕生会ブックスタート ※要申し込み 10時~11時
28日(火)	園開放 ※要申し込み 10時~11時		
6月 4日(火)	くれよん1才 すみれグループ	5日(水)	ふれあい離乳食体験 ※要申し込み 10時15分~11時15分
11日(火)	くれよん0才 つくしグループ	12日(水)	子育てルーム ※要申し込み 10時~11時
18日(火)	くれよん1才 すみれグループ	19日(水)	ほっこり広場(伊加賀公園) 申込不要 雨天中止 10時15分~
25日(火)	園開放 ※要申し込み 10時~11時	26日(水)	誕生会ブックスタート ※要申し込み 10時~11時

5月 枚方市のふれあい体験

8日(火) 10時15分~	5~8か月児 ふれあい体験 要予約・3組まで 離乳食(中期食)親子で試食・ふれあい遊び・手遊びなど
22日(水) 10時~11時	満1歳 誕生会ブックスタート 要予約・3組まで 満1歳のお誕生日を保育園でお祝いしましょう。手作りお誕生カードと、市から絵本のプレゼントがあります。 ※母子手帳・誕生カードに貼るお子さまの写真をご持参ください。

地域の皆様 愛和保育園地域子育て活動です

皆さまのご参加をお待ちしています



子育てワンポイント

ニガテなところもステキなところもうけとめながら

近藤直子著 ちいさいなかま2019年8月号より一部抜粋

~こころの発達の途中では、マイナスを出すのがあたりまえ~

苦手なことがあるということは果たしてマイナスなことなのでしょうか。「マイナス」という評価はおとなの価値観です。

どの子も生まれたときから「その子らしい」体をもって生まれています。緊張が強い・柔らかいといった体全体の感じも、揺れやおいや温度や音に対する感じ方も、それぞれです。親の働きかけへの反応もそれぞれだから、育てやすい赤ちゃんもいれば、育てにくい赤ちゃんも出てきます。赤ちゃんはみんな親のことが好きなのですが、快・不快の感じ方はそれぞれなので、好きなことと嫌いなことができていくのです。

1歳ごろになると子どもは、好きなおとなのしていることをマネっこして取り入れ始めるのですが、何にアンテナを向け何を取り入れるかは、子ども次第です。食べることに意欲的な子もいれば、食べることがあまり好きではない子も出てきます。親がさせたいことに子どものアンテナが向いているとやりやすいのですが、そうでないことには「イヤ」を連発したり、癩癩(かんしゃく)を起したりして親は大変です。

この時期の子どものアンテナが向いていることが通常「好きなこと」になり、向かないことが「嫌いなこと」で、嫌いではないから「苦手なこと」になるのですが、アンテナの向いていない方向から働きかけてもキャッチされにくいですね。子どもの「好き」を大切にしながらアンテナの幅を広げていくことがおとなには求められます。「したいこと=好き」ができれば「したくないこと=嫌い」ができる、発達とはそういうものなのです。二歳半以降、したいことに関しては自分なりストーリーをもって取りくむので、思い通りにならないと怒りを親にぶつけるなどの困った姿も出します。

したいことを通しておとなのしていることを取り入れて、ストーリーを実現し「できること」が増えてきた三歳児は、どんどん世界を広げていきますが、同時に「できないこと」にも気づき始めます。「できること」は「じぶんで!」としたがる一方で「できないこと」は「できないも〜ん」と甘えたりします。「できる」は「できない」という意識とセットになるのです。でも子どもは「できなさ」に負けてはいません。好きではないからしなかったことでも、「できる」なかまにあこがれてチャレンジし始めていくのですから。(中略)だから私たちは、子どもの体のありようも含めた持ち味を大切に、子どもが自分のステキさを実感しながら、ニガテも持ち味のひとつとして受けとめられるように応援するおとなでありたいと思うのです。